令和３年度 福井市啓蒙小学校スクールプラン

福井市学校教育目標
郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子供の育成
福井市学校教育方針
地域に根ざす「学びの一貫性」
中学校区学校教育方針
考えや思いを伝え合う力の育成

＜学校教育目標＞

－自ら可能性を拓き　心豊かにたくましく生きる子の育成－

【３つの視点】 考える　関わる　つづける

校訓　「明朗　不屈　真実」
社会の要請・保護者・地域の願い
・生涯学習につながる生きる力を伸ばす教育の充実
・地域に愛着をもち、所属意識に根ざす集団生活を営む力の育成

こんな子供を

○素直で明るい。
○物事にまじめに取り組む。
△相手の考えをじっくり聞き合い、学び合う力が十分ではない。
△学習に対して、受け身的な姿勢が見られる。

こんな取組を通して

・「教師が変われば子供は変わる」の姿勢のもと、互いに切磋琢磨して授業改善に取り組み、自己研鑽に励む。
・協働の取組、チームによる課題解決で学校を強くする。
・家庭、地域と連携し、地域に根ざす教育活動を推進する。

こんな子供に

―笑顔いっぱいの学校目指して―
・元気なあいさつができる子
・友達となかよくできる子
・最後まで粘り強く取り組める子
・地域と進んで関わり、地域に愛着をもつ子

重点目標

確かな学力の定着
◎主体的に学び、対話の中から考えを深める授業の推進
◎基礎学力と学習習慣の確かな定着
○読書活動の推進

生活力の向上
◎人間関係形成力の育成
◎個々の児童に寄り添った児童理解と指導・支援体制の充実
○基本的生活習慣の確立と定着

豊かな心たくましい身体の育成
◎豊かな心を培う道徳教育の充実
◎危機回避および対応能力の育成
○体力向上、健康増進に取り組む実践力の育成

地域に根ざした学校づくりの推進
◎園小接続、中学校区教育の推進
◎家庭・地域との連携充実
○地域資源の効果的活用とボランティア活動の推進

具体的な取組

◎主体的対話的な学びの中から新たな考えを引き出し深める授業づくりを目指し、分かる喜びや学ぶ楽しさが味わえる授業を推進する。
・学ぶ意欲を喚起する工夫
・対話的に学び合い思考する場の工夫
・自らの考えを持ち判断する場の工夫
・お互いの考えを表現する場の工夫
・振り返り、学びの価値を実感する工夫
○学びのルールを全校で共有し、粘り強く考える学習習慣の定着を図る。
◎朝学習や繰り返し学習する場を工夫して設定し、基礎学力の定着を図る。
○読み聞かせ、家庭読書等様々な手立てを積極的に推進し、読書習慣の定着を図る。
（貸し出し数１人５０冊を目指す）
◎専科教員による英語の授業の充実を図る。

◎学級・縦割り集団・学校行事等において児童が主体的に活動できるように工夫するとともに、活動の価値を児童自らが自覚できるようにして、学校生活における「居場所づくり」「絆づくり」に努める。
◎保護者や地域と連携し、心を繋ぐ言葉や挨拶の大切さを意識させることによって、温かい人間関係づくりが構築できる力を育成する。
◎心のチェックカード、面談、ケース会議を充実させることで、保護者や各関係機関との連携を密にして、一人一人のニーズを早期に的確に把握できる体制を確立し、指導・支援に生かすようにする。
○地域や家庭との連携を密にし、インターネットやゲーム等の時間を自らがコントロールできる力を育成する。

◎児童が当事者意識をもって自ら価値追究できる道徳の授業改善に努める。
○児童が相互に尊重し合う心を育む。
◎「いじめ防止基本方針」に基づく取組で、人権尊重に根ざした教育活動を推進する。
○キャリア教育を推進し、夢や目標をもちその実現に向けた努力をする態度を養う。
◎集団登下校等日常の安全指導、避難訓練の充実を通して、危機回避と対応能力を育成する。
○日常の安全点検を丁寧に実施し施設の安全を確保し、教育環境の充実を図る。
○縦割り集団による無言清掃を推進し、思いやり清掃を充実する。
○体育の授業の充実ならびにマラソンタイム等大休みの時間を計画的に活用し、体力向上と運動の日常化を図る。

◎園小の接続、中学校区での小小、小中の連携をより推進・充実する。
◎各種たよりやＨＰ等を通して授業や行事の様子を積極的に発信し、教育活動への理解を深めるとともに児童を見守り育てる体制充実に努める。
○地域活動への参画と、ボランティア活動を推進し、生き方を学ぶとともに地域に愛着がもてるようにする。
○授業のゲストティーチャーや読み聞かせボランティア、クラブ講師等に、地域人材や自然、文化を積極的・効果的に活用し、地域に根ざした活動を推進する。
◎働き方改革を推進し、会議時間短縮や教職員の時間外勤務時間短縮を図り、児童とふ

・授業がよく分かる。（児童８０％）
・分かる授業、学ぶ楽しさが味わえる授業づくりを工夫している。（教師１００％）

・先生、友達、地域の人々に進んで挨拶をしている。（児童８０％）
・お互いに認め合う温かな集団づくりに努めている。（教師１００％）

・友達の良い所を認め仲良くすることができる。（児童８０％）
・道徳では、心を見つめさせたり、生き方について考えさせたりする指導に努めている（教師１００％）

・学校での教育活動の公開が十分になされている。（保護者９０％）
・中学校区として目指す子供の姿の実現に取り組んでいる（教師９０％）

児童が喜んで登校する学校　　働きがいのある学校　　地域に信頼される学校